

墨田支所のニット生産技術に関する支援

海外生産が一般化した現在、生産技術の習得が困難となっています。そこで、ニット担当では編機を設置し、生産技術に重点をおいた相談や研修などの支援を行っています。

東京の繊維産業

かつては東京には編織、染色、縫製などの工場が多数ありましたが、現在は製造が海外にシフトするなどグローバル化が進んでいます。

しかし、東京はファッション、流通の中心地であり、企画開発、デザイン、海外生産管理、流通、品質管理などの業務に従事する人は少なくありません。これらの現場では、生産経験のある人材が不足し、製品開発や管理などが対応しにくい状況が見受けられます。

そこで、墨田支所では、ニットの生産設備を設置し、生産技術を中心とした技術支援を行っています。

墨田支所のニット生産技術関連の支援

ニット担当ではニット製品の生産、編地の組織や糸使いなどに関連する事項について研究、技術相談、依頼試験、機器利用、オーダーメイド研修などを行っています。

最近の研究には、凹凸編地の開発に関する研究があります。部分的に厚さやクッション性の異なる編地を編成する技術で、医療や介護分野向けの製品などに応用が可能です。詳細は本TIRIニュースの1月号をご覧ください。

技術相談では製品開発やクレーム原因究明と解決策に関する相談が多くあります。

依頼試験は、依頼者のご要望によるもので、製品開発やクレーム原因究明のために、編組織の分解や糸使いの分析試験を行っています。また、編地の試験的編成を行うこともできます。

機器利用は企業の方が自分でニットCADシステムにより編成データを作成し、編機により編成試験を行うものです。



図1 依頼試験、機器利用に活用の横編機

技術セミナーは外部の編機メーカーなどの専門家を招いてニット関連技術に関して講習を行います。短期専門研修は見学や体験ができるよう、10名の少人数で実施する研修制度です。



図2 オーダーメイド研修の様子

オーダーメイド研修は、企業のご要望に基づいて実施する研修で、その内容やレベルを、また、特定のテーマなどに細かく対応できるのが特徴です。

以上、担当の主要な業務を紹介させていただきました。お問い合わせをお待ちしております。

事業化支援部 <墨田支所>

池上夏樹 TEL 03-3624-4095

E-mail : ikegami.natsuki@iri-tokyo.jp